



〈事業所ホームページ リニューアル〉

<https://te-ate-hokan.com/>

令和元年 11 月から

当事業所のホームページが新しく生まれ変わりました。
是非一度、ご覧下さい！

新職員紹介・・・看護師が1名増えました。

今回、縁があって9月から勤務しています

はしもとまゆみ
看護師の橋本真有美です。



精神科病棟、外科病棟、婦人科病棟、クリニックでの勤務経験があります。

訪問看護は、子供が幼い頃非常勤での経験があり、イキイキと働く先輩ナースの姿に憧れました。その幼かった子供たちも成長したので、訪問看護に再度携わりたいと思い「てあて訪看」の一員に加わりました。

今は、覚えることが多くて頭の中が整理できていないところもありますが、一つ一つ積み重ねて成長したいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

質の保証に向けて～医療安全の取り組み～

私たちは医療保険における訪問看護療養費の算定要件という理由だけでなく、事業所の看護・リハビリテーション 質保証の意味で“ヒヤリ・ハット”事例を各職員が積極的に報告しあう取り組みを行っています。事業所には、リスクマネジメントの役割を担う職員がおり、集められた報告書を定期的に分析し、結果の提示をしています。

当ステーションは開設5年目。立ち上げ時は何もなかったところからの出発でした。まず、職員全員がヒヤリ・ハット報告書を提出する事の重要さを認識することから始めました。報告書の書式を簡素化し職員が気軽に記載できるようにしました。

現在は職員がどのようなことでも進んで滞りなくヒヤリ・ハット報告書を提出する習慣が出来るつつあります。

報告書は当ステーションの設定する患者影響レベル指標 7段階に基づいて分類しています。(※)利用者に影響を及ぼすに至らないレベル0～1の報告が大部分を占めています。

この段階での報告が多いことは、アクシデントを未然に防ぐことに役立っています。

報告されている事例で最も多いのは『物品の忘れ物』です。

忘れ物の件に関して、職員からアンケートを取り、分析しました。

忘れ物が発生しやすい場所や各職員の工夫等を情報共有し、忘れ物事例の改善を目指しております。

今後とも職員一同リスクマネジメントに積極的に取り組み、アクシデント発生を防ぐ事が出来るように努力を続けてまいります。

(※)影響レベル2までが「ヒヤリ・ハット」事例 (＝インシデント事例)

レベル3a以上が「医療事故」事例 (＝アクシデント事例)



ステーションのご案内

★24時間対応 ★療法士在籍

★小児・精神科・ターミナル対応・医療依存度の高い方

☆訪問エリア

松戸市全域 柏市・市川市・鎌ヶ谷市の一部

受け入れ可能

さくら通り亀有信金向かい

てあてリハビリ訪問看護ステーション松戸

松戸市常盤平陣屋前 4-17 トーシン常盤平ビル 402

営業時間:月～金・祝日 9:00～18:00

TEL 047-394-1711 FAX 047-394-1722

E-mail: kango@te-ate.com

☆ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

